

高温及び少雨に係る警戒・対策会議

日時 令和7年7月29日(火)

午前10時40分

場所 502会議室

次 第

1 開 会

2 協 議

- (1) これまでの気象概況及び今後の気象の見込みについて
(気象台)

資料1

- (2) 高温及び少雨による影響と今後の対応について

- ① 熱中症対策の主な取組みについて(環エネ)

資料2

- ② 県内の熱中症による救急搬送状況について(防災)

資料3

- ③ 県民への熱中症予防の注意喚起について(健福)

資料4

- ④ 公立学校における熱中症対策について(教育)

資料5

- ⑤ 農林水産業への影響について(農林)

資料6

- ⑥ 県管理ダムの状況について(県土)

資料7

- ⑦ 水道等への影響について(防災、企業)

資料8

- ⑧ 林野火災野火等の発生状況等について(防災)

資料9

- (3) その他

3 閉 会

令和7年7月29日
高温・少雨対策会議

今後の気象の見込みについて

山形地方気象台

気象経過（6月1日から7月24日）

【6月の特徴と概況】

○記録的な高温 ○梅雨入り6月14日ころ（速報）

6月は、高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、梅雨前線や低気圧の影響で、中旬は雨や曇りの日が多かった。

- ・ 山形など21地点で月平均気温の高い方から6月として1位を更新。
- ・ 新庄など 7地点で日最高気温の高い方から6月として1位を更新。
- ・ 山形など10地点で日最低気温の高い方から6月として1位を更新。

月平均気温はかなり高く、月平均気温、日最高気温、日最低気温のいずれも高い方から6月の極値を更新する地点もあるなど、記録的な高温となった。

月降水量は平年並か少なく、村山ではかなり少ない所があった。

気象経過（6月1日から7月24日）

【7月の特徴と概況】

○かなりの高温 ○かなりの少雨 ○梅雨明け7月18日ころ（速報）

上旬は、東北地方は気圧の谷となり曇りや晴れで雨が降った所がある。特に10日は梅雨前線の影響により大気の状態が不安定となり置賜では局地的に大雨となった。旬平均気温はかなり高い。旬降水量はかなり少ない。

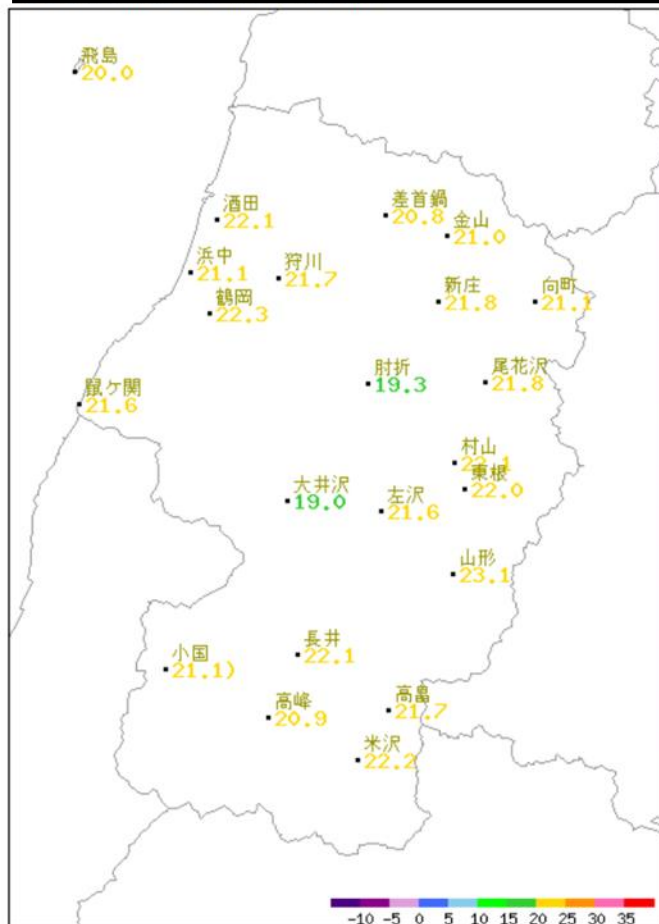
中旬は、高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、期間の中ごろは気圧の谷や暖かく湿った空気の影響で曇りや雨の日があった。また、山形県を含む東北南部は、7月18日ころに梅雨明けしたとみられる（平年より6日早い、昨年より14日早い）。旬平均気温は、庄内・村山・最上でかなり高く、置賜は高くかなり高い所があった。旬降水量は、庄内・村山・置賜ではかなり少ない。

梅雨期間の降水量（2025. 6. 14～7. 17 速報値）		
	降水量（平年値）	平年比
山形	57.5㎜（183.9㎜）	31%
酒田	87.5㎜（231.8㎜）	38%
新庄	78.5㎜（232.4㎜）	34%

※極値更新等については、「山形県の天候」参照（7月分は8月4日頃更新予定）
<https://www.jma-net.go.jp/yamagata/detail/synopsis.html>

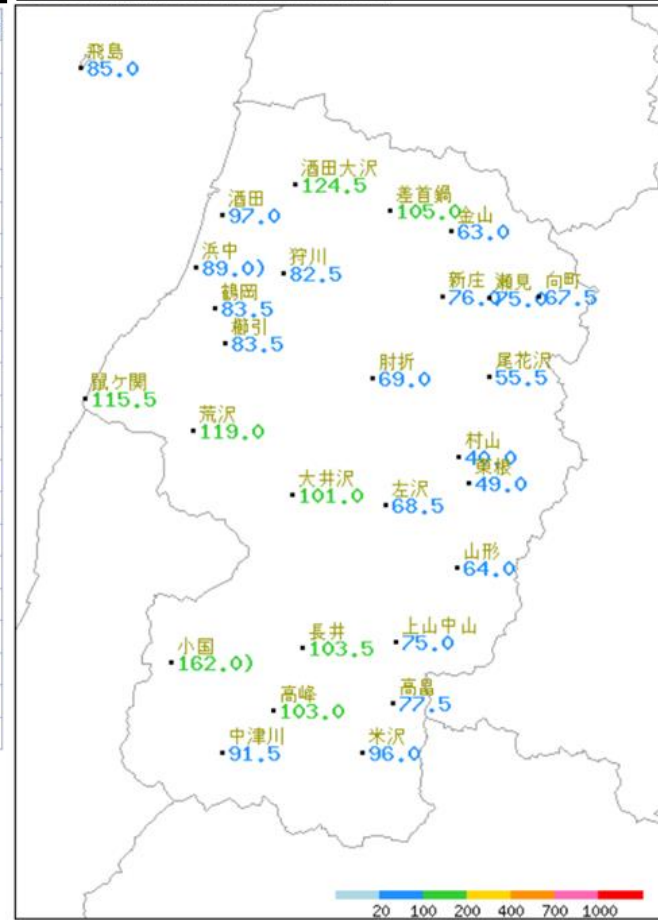
気象経過 【6月の降水量、平均気温】

アメダス月別値2025年6月 平均気温 (°C)



地点名	実況値	平年値	平年差
飛島	20.0	18.4	+1.6
酒田	22.1	20.0	+2.1
差首鍋	20.8	18.4	+2.4
浜中	21.1	19.5	+1.6
金山	21.0	18.6	+2.4
鶴岡	22.3	20.1	+2.2
狩川	21.7	19.6	+2.1
新庄	21.8	19.3	+2.5
向町	21.1	18.3	+2.8
肘折	19.3	17.0	+2.3
尾花沢	21.8	19.0	+2.8
鼠ヶ関	21.6	19.2	+2.4
村山	22.1	19.9	+2.2
東根	22.0	20.0	+2.0
大井沢	19.0	16.9	+2.1
左沢	21.6	19.0	+2.6
山形	23.1	20.3	+2.8
長井	22.1	19.3	+2.8
小国	21.1	18.9	+2.2
高島	21.7	19.6	+2.1
高峰	20.9	18.5	+2.4
米沢	22.2	19.8	+2.4

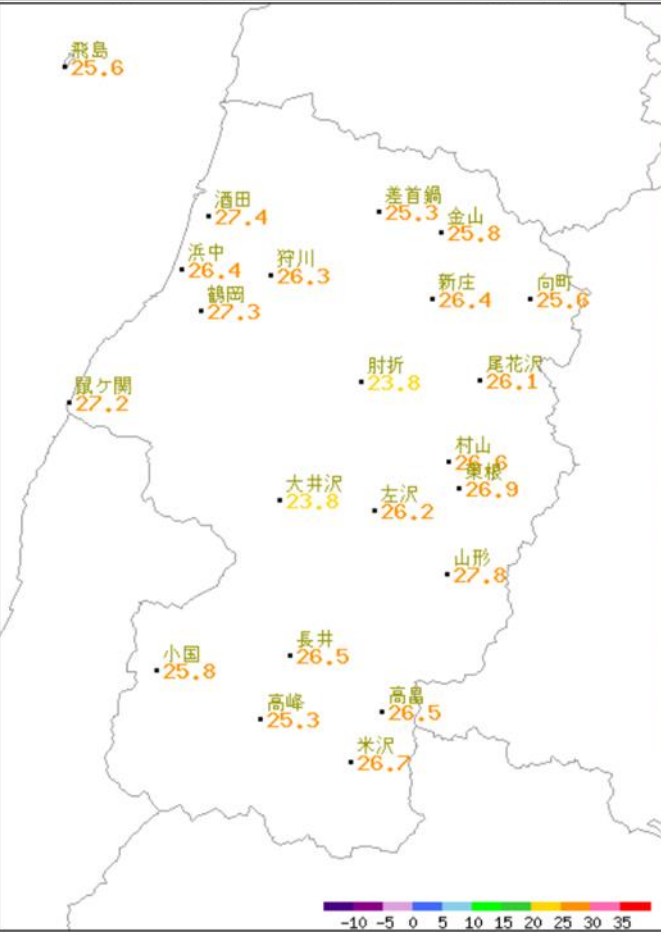
アメダス月別値2025年6月 降水量 (mm)



地点名	実況値	平年値	平年比(%)
飛島	85.0	91.4	93
酒田	97.0	125.3	77
酒田大沢	124.5	//	//
差首鍋	105.0	189.8	55
浜中	89.0	102.7	87
金山	63.0	136.6	46
鶴岡	83.5	124.3	67
狩川	82.5	125.2	66
新庄	76.0	126.0	60
瀬見	75.0	142.3	53
向町	67.5	137.2	49
櫛引	83.5	129.1	65
肘折	69.0	135.0	51
尾花沢	55.5	105.6	53
鼠ヶ関	115.5	137.7	84
荒沢	119.0	178.9	67
村山	40.0	91.4	44
東根	49.0	86.1	57
大井沢	101.0	166.7	61
左沢	68.5	115.4	59
山形	64.0	104.8	61
長井	103.5	141.8	73
上山中山	75.0	103.5	72
小国	162.0	191.7	85
高島	77.5	103.6	75
中津川	91.5	147.0	62
高峰	103.0	130.7	79
米沢	96.0	114.0	84

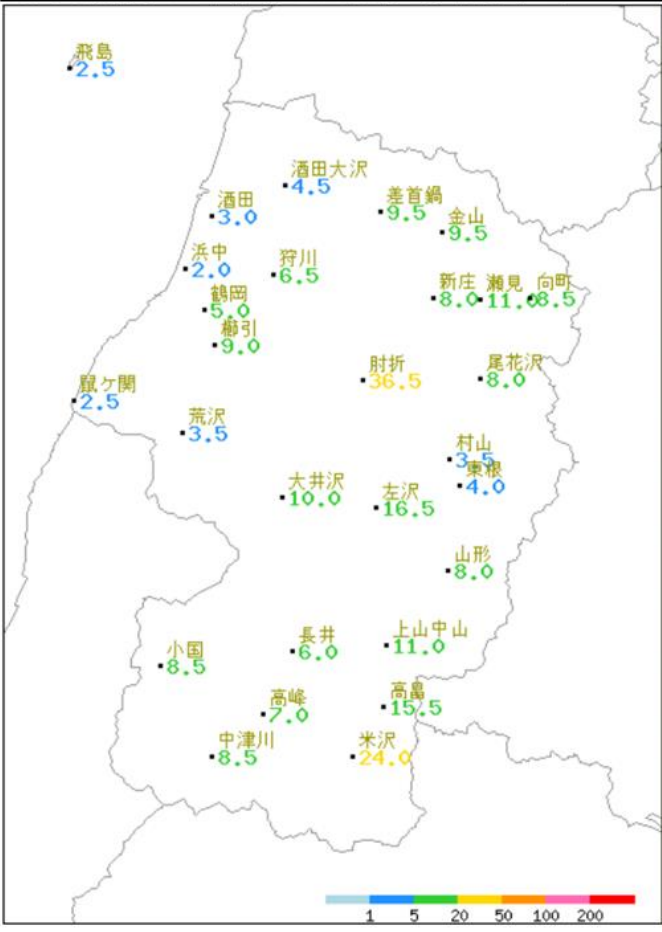
気象経過【7月1日から24日の降水量、平均気温】

アメダス月別値2025年7月1日～24日 平均気温（℃）



地点名	実況値	平年値	平年差
飛島	25.6	21.8	+3.8
酒田	27.4	23.3	+4.1
差首鍋	25.3	21.7	+3.6
浜中	26.4	22.7	+3.7
金山	25.8	21.8	+4.0
鶴岡	27.3	23.4	+3.9
狩川	26.3	22.6	+3.7
新庄	26.4	22.5	+3.9
向町	25.6	21.6	+4.0
肘折	23.8	20.5	+3.3
尾花沢	26.1	22.1	+4.0
鼠ヶ関	27.2	22.8	+4.4
村山	26.6	22.8	+3.8
東根	26.9	22.9	+4.0
大井沢	23.8	20.5	+3.3
左沢	26.2	22.2	+4.0
山形	27.8	23.4	+4.4
長井	26.5	22.5	+4.0
小国	25.8	22.3	+3.5
高峰	25.3	21.9	+3.4
高畠	26.5	22.7	+3.8
米沢	26.7	23.0	+3.7

アメダス月別値2025年7月1日～24日 降水量（mm）



地点名	実況値	平年値	平年比(%)
飛島	2.5	134.7	2
酒田	3.0	182.0	2
酒田大沢	4.5	//	//
差首鍋	9.5	285.7	3
浜中	2.0	181.0	1
金山	9.5	219.6	4
鶴岡	5.0	187.0	3
狩川	6.5	188.8	3
新庄	8.0	185.2	4
瀬見	11.0	206.1	5
向町	8.5	197.7	4
櫛引	9.0	186.1	5
肘折	36.5	188.4	19
尾花沢	8.0	146.0	5
鼠ヶ関	2.5	193.1	1
荒沢	3.5	262.5	1
村山	3.5	137.8	3
東根	4.0	129.9	3
大井沢	10.0	247.8	4
左沢	16.5	167.1	10
山形	8.0	152.5	5
長井	6.0	212.5	3
上山中山	11.0	170.3	6
小国	8.5	281.1	3
高畠	15.5	153.9	10
中津川	8.5	208.1	4
高峰	7.0	189.8	4
米沢	24.0	149.5	16

今後の天候の見通し

【1か月予報（天候・平均気温・降水量・日照時間）：7月26日～8月25日】

- 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- **平均気温は高い確率80% 降水量は平年並の確率40%**

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）

気温	東北地方	向こう1か月 07/26～08/25	10	10	80
		1週目 07/26～08/01	10	10	80
		2週目 08/02～08/08	10	10	80
		3～4週目 08/09～08/22	10	30	60
降水量	東北日本海側	向こう1か月 07/26～08/25	30	40	30
	東北太平洋側	向こう1か月 07/26～08/25	40	30	30
日照時間	東北地方	向こう1か月 07/26～08/25	20	40	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

【3か月予報（9～10月の天候と平均気温・降水量）】

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の**気温は高い**でしょう。
- 低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすいため、向こう3か月の**降水量は平年並か多い**見込み。

9月：天気は数日の周期で変わる見込みです。

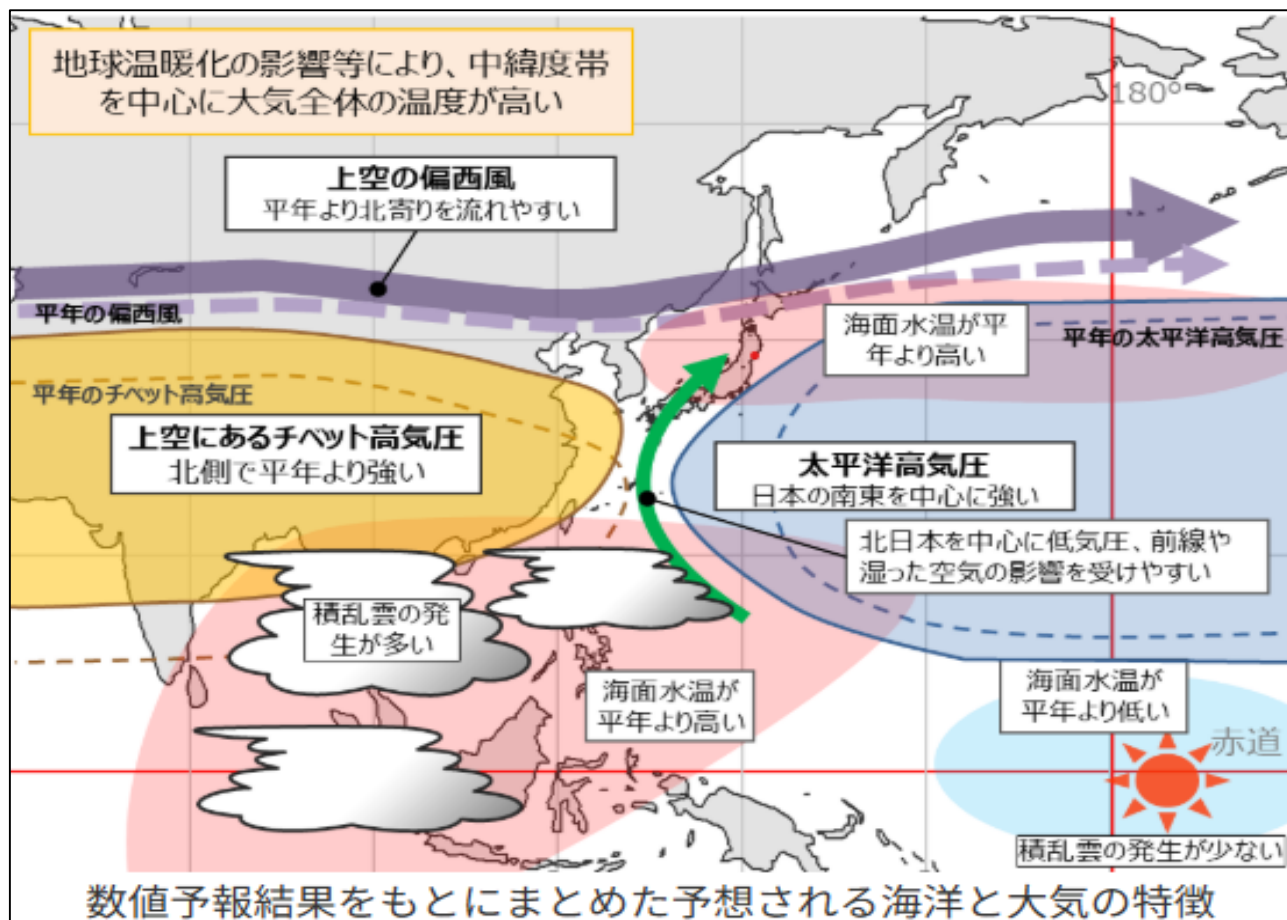
平均気温は高い確率50% 降水量は多い確率40%

10月：天気は数日の周期で変わる見込みです。

平均気温は高い確率50% 降水量は多い確率40%

予想される海洋と大気の特徴

- ・地球温暖化の影響等により、中緯度帯を中心に大気全体の温度が高い。
- ・積乱雲の発生は、インド洋東部からフィリピンの東方海上にかけて多く、太平洋中部の熱帯域では少ない見込み。
- ・これらの影響により、上空の偏西風は、平年より北寄りを流れやすく、チベット高気圧は、北側で平年より強く、太平洋高気圧は、日本の南東を中心に強い。
- ・このため、東北地方は暖かい空気に覆われやすい見込み。



- ・気象庁の向こう三か月予報では、8月から10月にかけて平年より平均気温が高くなる見込み
- ・暑さの本格化及び長期化に向け、県民の生命・健康を守るための熱中症対策を一層推進

1 庁内体制の整備

○山形県熱中症対策会議等の設置【環エネ】

今後も見込まれる酷暑に対し、各部局が連携し的確な熱中症対策を実施するため、知事をトップとする「山形県熱中症対策会議」を設置
また、関係部局が連携し、総合的かつ計画的に熱中症対策を推進していくため、対策会議の下に「山形県熱中症対策調整会議」を設置

2 クーリングシェルトーの利用促進等

○市町村における指定の推進、県民における利用の促進【環エネ】

市町村に対してクーリングシェルトーの制度を周知し、指定を働きかけるとともに、市町村が指定した施設が地図上で分かるWEBマップの作成等により、県民の利用を促進

3 熱中症対策のための設備導入等

①学校・児童養護施設等への可搬式冷房機器の導入（令和6年度までに整備済） 【教育、総務、子育てほか】

- ・市町村立中学校 ・県立学校（中学、高校、特別支援） ・私立高等学校
- ・青少年教育施設 ・一時保護施設 ・児童養護施設 など

②通学時の安全対策等に対する支援【教育】（令和6年度助成終了）

小中学生の通学時における安全対策等として、携帯電話等の購入が困難な生活保護世帯に対する購入援助を行う市町村に対して助成

③職場における熱中症対策の強化【総務】（令和7年度新規）

労働安全衛生規則の一部改正（令和7年6月1日施行）により職場における熱中症対策が強化されたことを受けて、熱中症を生ずるおそれのある作業に係る報告体制の整備、措置フローの作成、各職員への周知を実施

4 県民への注意喚起・普及啓発

①県民に対する熱中症への注意喚起、熱中症の予防と対処方法に関する普及啓発【健福、総務】

- ・熱中症への警戒が必要と判断される場合におけるプレスリリース及び県公式SNSによる随時の注意喚起
- ・テレビ、ラジオ、新聞、県ホームページ等を活用した熱中症の予防、対処方法に関する普及啓発
※ SNSなどを使用しない方にも情報を伝えるため、熱中症予防啓発チラシを作成し、市町村と連携して回覧板等を活用した情報発信を実施

②学校等における熱中症対策の実施、事故防止の徹底 【教育、総務、子育て】

- ・熱中症事故防止に向けて早期から注意喚起を実施
- ・運動会・体育祭の実施時期の見直し
- ・幼児教育・保育施設、児童養護施設等における熱中症対策実施の呼びかけ

③関係団体等を通じた熱中症対策の呼びかけ【各部局】 関係団体を通じた労働現場、イベント等における熱中症対策実施の呼びかけなど

④県の施設及び県主催イベント等における熱中症対策の徹底 【各部局】

⑤熱中症による救急搬送状況の公表【防災】

県民に熱中症に対する注意を促すため、週ごとの熱中症による救急搬送状況を公表（概ね4月下旬～10月上旬）、併せて「山形県救急電話相談」の周知を実施

環境エネルギー部における熱中症対策の取組みについて

1 熱中症警戒アラート等について

(1) 本県における熱中症警戒アラート等の発表回数

熱中症警戒アラート発表回数				
R 7 4/23～7/28	R 6 4/25～7/31		R 5 4/26～7/31	
3	4	0	24	2
熱中症特別警戒アラート※発表回数				
発表の実績なし				

※熱中症特別警戒アラートについては、全国的にも発表された実績なし

(2) 熱中症警戒アラート発表時等の対応

- 市町村に対して、地域住民への発信等を呼びかけ（アラート発表に備えて、市町村との情報伝達訓練を実施（5/29））
- 各部局に対して、業務や主催するイベント等での熱中症対策の徹底を依頼
- 庁内放送により、来庁者及び職員へ向けた熱中症に対する注意喚起を実施

2 クーリングシェルターについて

(1) 市町村におけるクーリングシェルの指定状況

R7.7.3時点

No.	市町村名	施設数	No.	市町村名	施設数	No.	市町村名	施設数
1	山形市	69	13	南陽市	16	25	大蔵村	4
2	米沢市	41	14	山辺町	4	26	鮭川村	2
3	鶴岡市	59	15	中山町	3	27	戸沢村	3
4	酒田市	47	16	河北町	13	28	高畠町	9
5	新庄市	23	17	西川町	3	29	川西町	9
6	寒河江市	13	18	朝日町	3	30	小国町	3
7	上山市	16	19	大江町	7	31	白鷹町	9
8	村山市	14	20	大石田町	2	32	飯豊町	8
9	長井市	9	21	金山町	4	33	三川町	6
10	天童市	21	22	最上町	2	34	庄内町	14
11	東根市	12	23	舟形町	6	35	遊佐町	8
12	尾花沢市	7	24	真室川町	8	合計		477

(2) クーリングシェルターに係る県の対応

- 市町村が指定したクーリングシェルの施設名、場所、利用可能日時等について県ホームページで公表
- 指定された施設の位置が地図上で分かるWebマップを作成し公表
- クーリングシェルターについて、テレビやラジオにより県民へ向けた周知・啓発を実施（テレビ：7/18_NHK山形 ラジオ：7/11_NHKラジオ第1、7/23_エフエム山形）

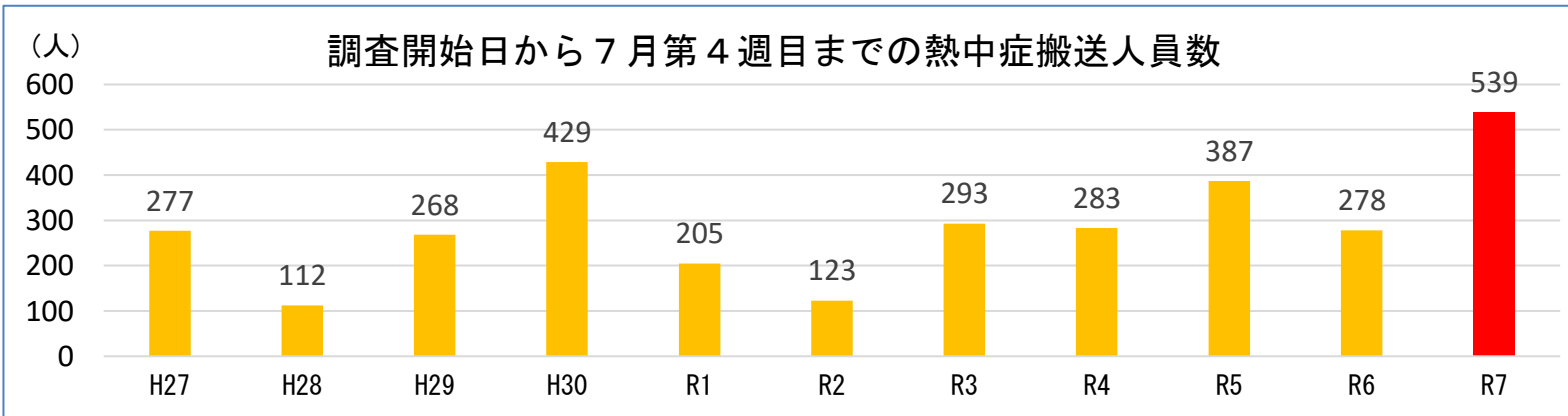
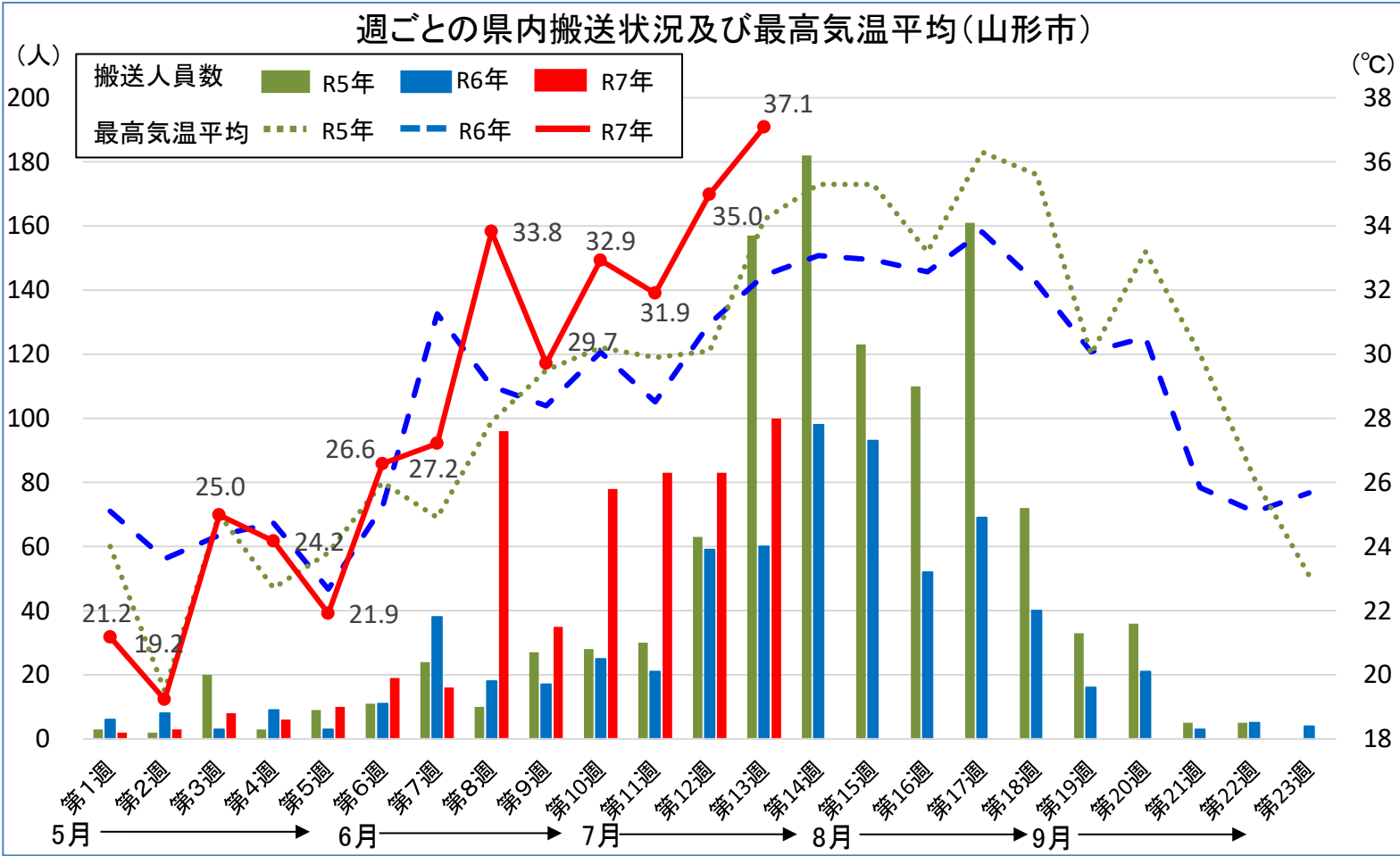
令和7年7月29日
防災くらし安心部

県内の熱中症による救急搬送状況

1 年齢及び傷病程度（初診時） (単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	年齢区分					初診時における傷病程度				
		新生児 (生後28 日未満)	乳幼児 (7歳 未満)	少年 (18歳 未満)	成人 (65歳 未満)	高齢者 (65歳 以上)	死亡	重症	中等症	軽症	その他
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	0	7	96	343	668	4	45	276	761	28
	(構成比)	0.0%	0.6%	8.6%	30.8%	60.0%	0.4%	4.0%	24.8%	68.3%	2.5%
令和6年 (4/29～10/6)	679	0	1	58	195	425	1	16	199	460	3
	(構成比)	0.0%	0.1%	8.5%	28.7%	62.6%	0.1%	2.4%	29.3%	67.7%	0.4%
令和7年 (5/1～7/27)	539	0	1	32	152	354	0	16	176	347	0
	(構成比)	0.0%	0.2%	5.9%	28.2%	65.7%	0.0%	3.0%	32.7%	64.4%	0.0%
[参考] 対R6同期比 (4/29～7/28)	+ 261	+ 0	+ 0	▲ 2	+ 94	+ 169	+ 0	+ 12	+ 89	+ 161	▲ 1
[参考] 対R5同期比 (5/1～7/30)	+ 152	+ 0	▲ 2	▲ 5	+ 43	+ 116	▲ 2	▲ 1	+ 75	+ 95	▲ 15

【集計対象】 調査期間中に救急搬送した熱中症（疑い含む）の傷病者の人員数



2 発生場所別

(単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	住居	工場、 工事 現場等	田畑、 森林等	教育 機関	公衆出入場所		道路	その他
						屋内	屋外		
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	523	122	41	38	66	131	126	67
	(構成比)	46.9%	11.0%	3.7%	3.4%	5.9%	11.8%	11.3%	6.0%
令和6年 (4/29～10/6)	679	303	64	20	18	52	83	92	47
	(構成比)	44.6%	9.4%	2.9%	2.7%	7.7%	12.2%	13.5%	6.9%
令和7年 (5/1～7/27)	539	233	52	14	13	28	73	77	49
	(構成比)	43.2%	9.6%	2.6%	2.4%	5.2%	13.5%	14.3%	9.1%
[参考] 対R6同期比 (4/29～7/28)	+ 261	+ 108	+ 32	+ 8	+ 0	+ 6	+ 36	+ 41	+ 30
[参考] 対R5同期比 (5/1～7/30)	+ 152	+ 58	+ 19	▲ 1	▲ 1	+ 1	+ 19	+ 33	+ 24

令和 7 年 7 月 2 9 日
健 康 福 祉 部

県民への熱中症予防の注意喚起について

1 熱中症予防啓発資材の製作

県統一のチラシ20,000枚、うちわ（令和7年度新規）10,000本を製作し、市町村と連携のうえ、回覧版、広報誌、イベント、健康講座等の機会を通して配布。

2 熱中症対策啓発動画の制作（令和7年度新規）

連携協定を締結する大塚製薬株式会社協力のもと、株式会社ファミリーマートや株式会社セブン-イレブン・ジャパンと連携した熱中症対策啓発動画を2種類制作。ファミリーマート店内のデジタルサイネージ、セブン-イレブンアプリのほか、県公式YouTube、県庁や総合支庁の大型モニターなどで放映。

3 プレスリリースによる注意喚起

熱中症のリスクが高まると予測される場合などに実施。

8回（4/18、4/25、5/20、6/5、6/16、6/20、7/8、7/17）

4 SNS（フェイスブック、X）による注意喚起

熱中症のリスクが高まると予測される場合などに実施。

12回（4/18、4/25、5/20、6/5、6/16、6/20、7/8、7/16、7/17、7/19、7/20、7/29）

5 知事定例記者会見における注意喚起

3回（4/25、6/11、7/2）

6 県ホームページにおける注意喚起

熱中症の特徴や予防・対処方法、熱中症対策啓発動画等を掲載。

6月20日からトップページにバナーを掲載。

7 県政ラジオ（FM山形・YBCラジオ）による注意喚起

6月から毎週放送。

8 県民のあゆみによる注意喚起

5月号のインフォメーションに熱中症予防のポイントを掲載。

公立学校における熱中症対策について

1 学校管理下における熱中症受診状況（4～6月までの状況）

(1) 校種別医療機関受診数

(人)

	令和 7 年度	(参考)			
		令和 6 年度		令和 5 年度	
		4～9 月		4～9 月	
小学校	23	8	17	19	45
中学校	15	19	42	13	78
高等学校	11	8	28	6	53
特別支援学校	1	0	0	0	1
合 計	50	35	87	38	177

(2) 令和 7 年度（4～6月までの調査）行動別医療機関受診数

(人)

	運動中	授業中	部活動中	その他	合計
小学校	14	3	0	6	23
中学校	5	2	7	1	15
高等学校	4	1	5	1	11
特別支援学校	0	0	0	1	1
合 計	23	6	12	9	50

※運動中…体育の授業や体育行事、授業中…教室等授業中、その他…休み時間を含む

2 令和 7 年度の県教育委員会の取組み

(1) 熱中症事故防止に向けて例年より早期から注意喚起を実施

- 4 月 1 日（火）、県立学校及び市町村教育委員会に対し対策徹底を要請する通知を发出。これを含め、今年度は注意喚起等の通知を 5 回发出

(4/1、4/24、5/9、6/16、7/8)

- 年度当初の各種会議（各学校長会議、県市町村教委教育長会議等）において、学校長及び教育長に対し直接対策徹底を呼びかけ

(2) 運動会・体育祭の実施時期の見直し

- 令和 6 年 11 月、令和 7 年度の運動会・体育祭の実施について、猛暑が予想される時期※を避けるよう各公立学校に要請

※猛暑が予想される時期…令和 6 年度に熱中症警戒アラートが発表された 7 月下旬から 9 月上旬を想定

- 令和 7 年度に運動会等を実施する 363 校のうち、354 校が猛暑と予想される時期以外に実施を予定。猛暑が予想される時期に計画している 9 校は、空調設備がある屋内での実施

農作物等の生育概況と高温・少雨の影響について

I 農作物の生育概況等

1 気象経過

7 月は、平年に比べて平均気温はかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間は多く経過している。7 月 1 日から 27 日のアメダス山形、新庄、米沢及び酒田の平均気温は、いずれも平年より 3.8～4.4℃高く、降水量は平年の 2～15%と少なく、日照時間は平年の 157～166%と多い。

表 夏期高温3力年の気象(7月1日～27日 地点:山形)

年	平均気温	最高気温	最低気温	降水量	日照時間
R7年	28.0 ℃	34.2 ℃	23.2 ℃	8.0 mm	193.8 h
平年比差	4.4 ℃	5.5 ℃	3.5 ℃	5 %	157 %
R5年	25.6 ℃	31.0 ℃	21.2 ℃	157.0 mm	153.5 h
H30年	26.7 ℃	32.7 ℃	22.0 ℃	27.0 mm	183.8 h

*アメダスデータ参照

2 主な農作物の生育状況等

(1) 水 稲

- 7 月 18 日現在の生育は、平年に比べて草丈はやや長く、茎数は少なく、葉数はやや多く、葉色は淡くなっている。
- 7 月 28 日現在、早生品種を中心に出穂期を迎えており、「はえぬき」は 7 月 31 日頃（平年比－3 日）、「つや姫」は 8 月 7 日頃（平年比－1 日）、「雪若丸」は 7 月 31 日頃（平年比－3 日）に出穂期となる見込みであり、より多くの用水を必要とする時期を迎える。
- 沢水利用等で用水が確保できなかった圃場では、土壌の白乾亀裂やイネの巻き葉、枯れ上がりが見られ、穂の出すくみ（稲穂が正常に伸長しない状態）や受精しない籾の増加による減収が懸念される。

(2) 大 豆

- 早生品種は 7 月 20 日頃、晩生品種は 7 月 25 日頃から開花期を迎えている。
- 少雨の影響で、葉の裏返りや萎れが散見されており、花や莢の落下による収量の低下が懸念される。用水が確保できる圃場の一部では、畝間灌水が行われている。

(3) 果 樹

- 果樹全般では、少雨の影響で、全域で果実肥大の停滞がみられており、間もなく収穫を迎える早生種では収量の低下が懸念される（7 月 23 日現在の園芸農業研究所における果実コ径：りんご「ふじ」平年比 95%、西洋なし「ラ・フランス」平年比 95%、もも「川中島白桃」平年比 93%）。

- 高温少雨の影響で、りんごやすももの早生種、ぶどうの「デラウェア」や大粒種では、日焼け果の発生が散見される。
- ぶどう「デラウェア」の出荷は、例年より7日程度遅い8月3日頃から本格化する見込みである。高温の影響で、全域で着色遅延がみられており、品質の低下が懸念される。
- さくらんぼでは、少雨の影響で、一部地域で葉の黄変落葉が散見されており、樹勢の衰弱や花芽の充実不良、双子果の増加が懸念される。

(4) 野 菜

- 露地すいかの収穫は、例年より早い7月11日頃から始まり、例年並の7月20日頃から本格化している。現時点では果実の肥大及び品質は概ね良好であるが、草勢の低下が見られており、うるみ果や日焼け果の発生、適期収穫の遅れが懸念される。灌水でできなかった圃場では茎葉の萎れが増加し、枯れ上がりが散見される。
- えだまめの収穫は、庄内地域で例年並の7月10日頃から、西村山地域で例年並の7月16日頃から始まっている。中晩生、晩生品種では、少雨の影響で茎葉の伸長不足や萎れが散見されており、落花や着莢のバラツキによる減収が懸念される。
- にら等の露地品目では、少雨の影響で茎葉の伸長不足や萎れ等が散見される。また、トマトやきゅうり等の施設品目では、草勢低下や着色不良、日焼け果の発生等が散見される。

(5) 花 き

- 露地花きでは、8月盆向けきく類、りんどうの出荷始期となっている。少雨の影響で草丈伸長不足、高温の影響で開花遅延が全域でみられる。また、一部地域にりんどう花卉の着色不良が散見される。
- 施設花きでは、高温、強日射により葉焼け、花焼けの発生が散見され、開花の前進が全域でみられる。
- 播種時期を迎えている秋出し花壇苗では、高温による発芽不良や鉢上げ後の枯死を回避するため、例年より播種を遅らせている。

(6) 畜 産

- 家畜の死亡は、例年より乳用牛、採卵鶏、ブロイラーで多くなっている。
- 牧草等については、生育停滞や夏枯れがみられる。

Ⅱ 水産業の状況

- 内水面では、河川の流量が減少し、餌となる藻類が少なくなり、鮎の生育が劣り小型化している。
- 一部養鱒業者において、飼育水温が上昇し、イワナのへい死が見られている。

Ⅲ 農業用水の状況

1 農業用ダム・ため池の貯水状況

- 6月下旬からの少雨の影響で貯水率の低下が進み、貯水量は7月25日時点で平年比38～96%となっている。

農業用ダム・ため池の貯水状況調査（7月25日）（千 m³）

	管内	市町村	施設名	管理者	有効貯水量	貯水量	貯水率	平年比	前年比
農業用ダム	置賜	米沢市	みずくぼ水窪ダム	県農林水産部	31,000	15,937	51%	91%	102%
	置賜	飯豊町	しらかわ白川ダム	国交省	※1 12,790	12,035	94%	-	-
	村山	尾花沢市	しんつるこ新鶴子ダム	県農林水産部	29,800	17,868	60%	86%	78%
	村山	上山市	なまいかわ生居川ダム	上山市土改区	2,470	1,053	43%	55%	55%
	村山	東根市	しろみずがわ白水川ダム	県県土整備部	2,600	1,756	68%	82%	68%
	最上	金山町	ますざわ桧沢ダム	県農林水産部	6,751	2,605	39%	59%	44%
農業用ため池	置賜	米沢市	すぎさわ杉沢	米沢市	460	339	74%	92%	74%
	置賜	高島町	びるさわ蛭沢	米沢平野土改区	2,075	843	41%	84%	64%
	村山	河北町	ひきりゆうだいに引竜第二	寒河江川土改区	332	225	68%	77%	69%
	村山	朝日町	うまがみ馬神	朝日町土改区	1,244	1,182	95%	96%	95%
	最上	新庄市	こいらがわ小以良川	泉田川土改区	358	126	35%	38%	35%

※1 洪水調整容量を除いた利水貯水量（参考）

※2 平年比とは過去10年平均貯水量と比較した割合

2 河川の流況

- 最上川基準観測地点「高屋」では、渇水基準流量に近づくペースで水量低下が進んでいる。
- 河川によっては、7月上旬以降、水量の低下が進み、取水困難な状況となっていることから、土地改良区等において河川管理者と協議の上、臨時的な対応を講じるなど、河川からの取水を確保している。

3 対応状況

- 7月17日付けで市町村、土地改良区等の関係者へ節水やきめ細かな用水管理を行うよう周知しているが、引き続き、農業用水の管理を行う土地改良区等と連携し、出穂期のかんがい用水の確保に向けて、節水やきめ細かな水配分（番水や排水路からの反復利用など）の取組みの強化を呼び掛けていく。
- 用水の確保が厳しい地域では、番水や移動式ポンプの設置による反復利用、補水用ため池や井戸からの用水供給を行い始めている。なお、沢水を利用している地域を中心に、用水の確保が困難になりつつある。

県土整備部管理ダムの貯水状況（7 月 28 日午前 8 時現在）

- 県土整備部で管理しているダムの半数以上（11 ダム中 9 ダム）が 7 割以下の貯水率となっており、ほとんどのダムで 5 か年平均値を下回っている。（木地山ダムは、工事等による水位低下）
- 関係機関との情報共有・対応協議を行う「渇水情報連絡協議会」の開催状況は以下のとおり。
- ・ 最上川水系（定例会 7 月 14 日実施、幹事会 7 月 30 日予定）
 - ・ 赤川水系（定例会 6 月 5 日実施、専門部会 7 月 25 日実施）
- 各ダムにおける「利水調整協議会」の開催状況は以下のとおり
- ・ 温海川ダム（準備会：7 月 23 日実施、7/23_14 時～放流量 0.8m³/s → 0.5m³/s）
 - ・ 田沢川ダム（準備会：7 月 25 日実施）
- 今後も気象情報や貯水率を注視しながら、市町村及び利水者で構成する「利水調整協議会」を通して情報共有していく

表 県土整備部管理ダムの貯水状況（令和 7 年 7 月 28 日 8 時現在）

ダム名	所在地	目的	貯水率(%)			備考
			本日	5か年平均 (R2～6)	5か年平均 との差	
さおう蔵王ダム	山形市	F・N・W	65.1	64.8	0.3	
まえかわ前川ダム	上山市	F・N	57.9	83.3	▲ 25.4	
とめやまがわ留山川ダム	天童市	F・N	67.7	94.0	▲ 26.3	
しろみずがわ白水川ダム	東根市	F・N・A	65.2	90.2	▲ 25.0	
かむろ神室ダム	金山町	F・N・W・P	73.6	88.6	▲ 15.0	
たかさか高坂ダム	真室川町	F・P	41.0	48.5	▲ 7.5	
つなきがわ綱木川ダム	米沢市	F・N・W	93.4	98.4	▲ 5.0	
きじやま木地山ダム	長井市	N・P	8.2	52.2	▲ 44.0	※ゲート改良工事に伴う水位低下
あらさわ荒沢ダム	鶴岡市	F・N・P	57.5	72.0	▲ 14.5	
あつみがわ温海川ダム	鶴岡市	F・N・P	41.3	98.5	▲ 57.2	
たざわがわ田沢川ダム	酒田市	F・N・W	53.1	94.4	▲ 41.3	

※ 目的凡例 F:洪水調節 N:流水機能の維持 A:かんがい W:上水道 P:発電

※ 治水専用の月光川ダム及び最上小国川流水型ダムを除く

参考 表 国土交通省管理ダムの貯水状況(令和 7 年 7 月 28 日 8 時現在)

ダム名	所在地	目的	貯水率(%)	ダム名	所在地	目的	貯水率(%)
さかえ寒河江ダム	西川町	F・N・A・W・P	81.9	よこかわ横川ダム	小国町	F・N・I・P	86.0
ながい長井ダム	長井市	F・N・A・W・P	64.4	がっせん月山ダム	鶴岡市	F・N・W・P	82.4
しらかわ白川ダム	飯豊町	F・N・A・I・W・P	87.8				

※ 目的凡例 F:洪水調節 N:流水機能の維持 A:かんがい I:工業用水 W:上水道 P:発電

令和 7 年 7 月 29 日
防災くらし安心部

県内水道事業の状況（7 月 28 日現在）

1 給水制限の実施

市 町 村	小国町
期 間	7 月 9 日から毎日
時 間	夜 10 時～翌朝 5 時
対象範囲	上水道供給区域内の 1,800 戸・3,800 人 (上水道給水人口の 91.7%)
制限内容	全体給水量の 20%減水

2 節水の呼び掛けの実施

市 町 村	期 間	対象範囲
酒 田 市	7 月 27 日～	市内全域
真室川町	7 月 24 日～	安楽城地区
鮭 川 村	7 月 9 日～	木の根坂地区

3 その他

上記以外の市町村は、現時点で「水道の給水制限」及び「節水の呼び掛け」の実施予定はなし。

以上

高温・少雨の企業局事業への影響について

1 水道用水供給事業

- ・ 企業局では、下記の 6 つのダムを水源として、23 市町に水道用水を供給。
(県全体の水道用水に占める企業局供給分の割合は約 58%)
- ・ ダムの貯水率が 5 ヶ年平均を下回っているものの、今のところ用水供給への影響はなし。

令和 7 年 7 月 28 日 8 時現在

給水地域	村山	最上	置賜		庄内(南部)	庄内(北部)
水源ダム (所管)	寒河江ダム (国交省)	神室ダム (山形県)	水窪ダム (農水省)	綱木川ダム (山形県)	月山ダム (国交省)	田沢川ダム (山形県)
貯水率	81.9%	73.6%	47.4%	93.4%	82.4%	53.1%
5 カ年平均貯水率	98.0%	88.6%	58.9%	98.2%	93.2%	94.4%
5 カ年平均との差	▲16.1%	▲15.0%	▲11.5%	▲4.8%	▲10.8%	▲41.3%

2 工業用水道事業

- ・ 企業局では、3 つの工業用水道事業(酒田、福田、八幡原)により、52 社・59 事業所に工業用水を供給。
- ・ 酒田は最上川、福田は地下水、八幡原は水窪ダムを水源としており、福田及び八幡原については、今のところ給水への影響はなし。
- ・ 酒田については、最上川流量の減少に伴う塩水の遡上により、7/19(土)夕刻から、現取水口の 800m 上流地点に仮設取水ポンプを設置し、そこからの取水に切り替え。7/27(日) 0:30 に仮設取水口まで塩水が遡上し、工業用水への混入が始まり、7/28(月) 12 時現在、受水企業 24 社中、2 社の操業に影響が出ている。

3 電気事業

- ・ 企業局では、水力 14、太陽光 1、風力 1 の 16 発電所で、県内で消費される電力量の約 5.0%を発電。
- ・ 稼働中の 11 水力発電所は、9 ダム、2 河川を水源としており、発電量の減少はあるものの、今のところ事業への影響はなし。

以上

林野火災野火等の発生状況等について

1 令和 7 年の発生状況

令和 7 年は、前年に比べ 4 月から 5 月の春の時期は発生件数が少なかったが、7 月に入り発生件数が多くなっている。

(括弧内はうち林野火災の件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
令和 7 年	1	1	5 (1)	11 (1)	5 (1)	9 (1)	19	51 (4)
令和 6 年	0	3	6	55 (19)	23 (7)	9 (2)	4	100 (28)

※件数は速報値、令和 7 年 7 月の件数は 7 月 27 日現在

2 林野火災野火等の多発への対応

(1) 林野火災野火等多発警報の発令

発令期間：令和 7 年 7 月 24 日（木）から 7 月 30 日（水）まで

7 月 17 日（木）から 7 月 23 日（水）までの 1 週間に、県内において林野火災野火等が 10 件発生。市町村及び消防本部に通知し、県民に対する火災予防の啓発を要請し、報道機関にプレスリリースを実施。

(2) 県民に要請している火災防止のための注意事項

- ①強風時及び乾燥時には、たき火、野焼き等をしない
- ②枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしない
- ③たき火等火気の使用中は、その場を離れず、使用後は完全に消火する
- ④火入れを行う際は、市町村の許可を必ず受ける
- ⑤たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てない
- ⑥火遊びはしない

(参考) 林野火災野火等多発警報の発令基準

1 週間に 10 件以上の林野火災及びその他火災（空地、田畑、河川敷等）が発生した場合に発令する。発令の期間は、発令の日から 1 週間。

なお、発令期間中に 10 件以上の林野火災及びその他火災が発生した場合には、発令期間終了日の翌日からさらに 1 週間延長する。